フマキラー株式会社

2021年3月期 第2四半期
決算説明資料

日用品質

2020年12月４日

日用品質
フマキラー®

目次

Ⅰ．決算概要

Ⅱ．通期予想と今後の展開

Ⅲ．補足資料

Ⅰ．決算概要
（2021年3月期第2四半期）

日用品質 フマキラー

決算概要－連結売上・利益

- アルコール除菌関連商品の急拡大により国内売上が伸長
- 2Qとしては過去最高の営業利益を達成

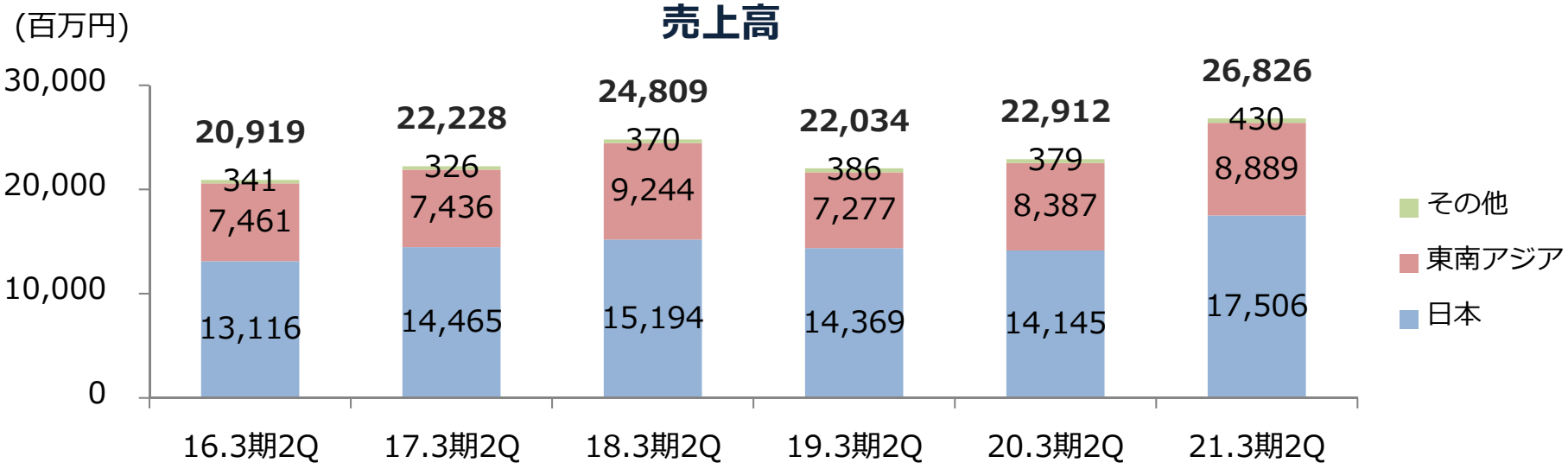
	20.3月期2Q		21.3月期2Q					
	実績(百万円)	構成比(%)	1Q時計画(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)	計画比(%)
売上高	22,912	100.0	25,600	100.0	26,826	100.0	117.1	104.8
売上総利益	6,504	28.4	7,930	31.0	8,314	31.0	127.8	104.9
販管費	6,020	26.3	5,420	21.2	5,622	21.0	93.4	103.7
営業利益	365	1.6	2,270	8.9	2,366	8.8	646.5	104.2
経常利益	427	1.9	2,200	8.6	2,478	9.2	579.9	112.7
親会社株主に帰属する四半期純損益	▲249	▲1.1	1,300	5.1	1,620	6.0	—	124.7
1株当り損益	▲15.14円		78.87円		98.34円			

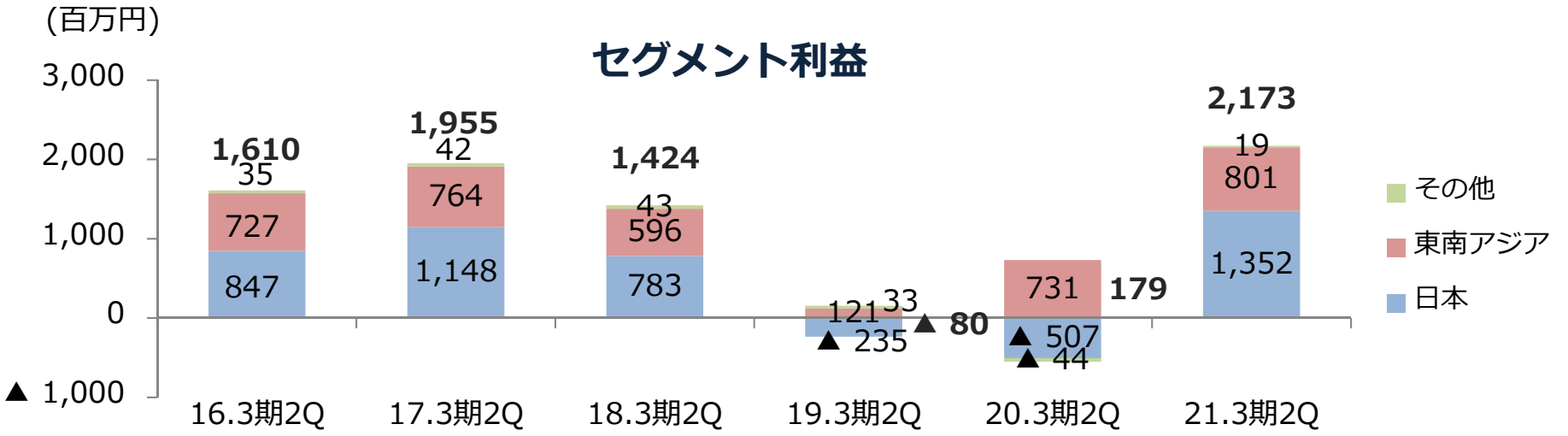
※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質 フマキラー

決算概要－セグメント情報

- 日本は、アルコール除菌関連商品の伸長が寄与し、売上、セグメント利益とも大幅に伸長
- 東南アジアは、為替の影響を受けたが、トータルでは増収益を維持
- その他のセグメントは、メキシコの利益が改善し黒字に転換

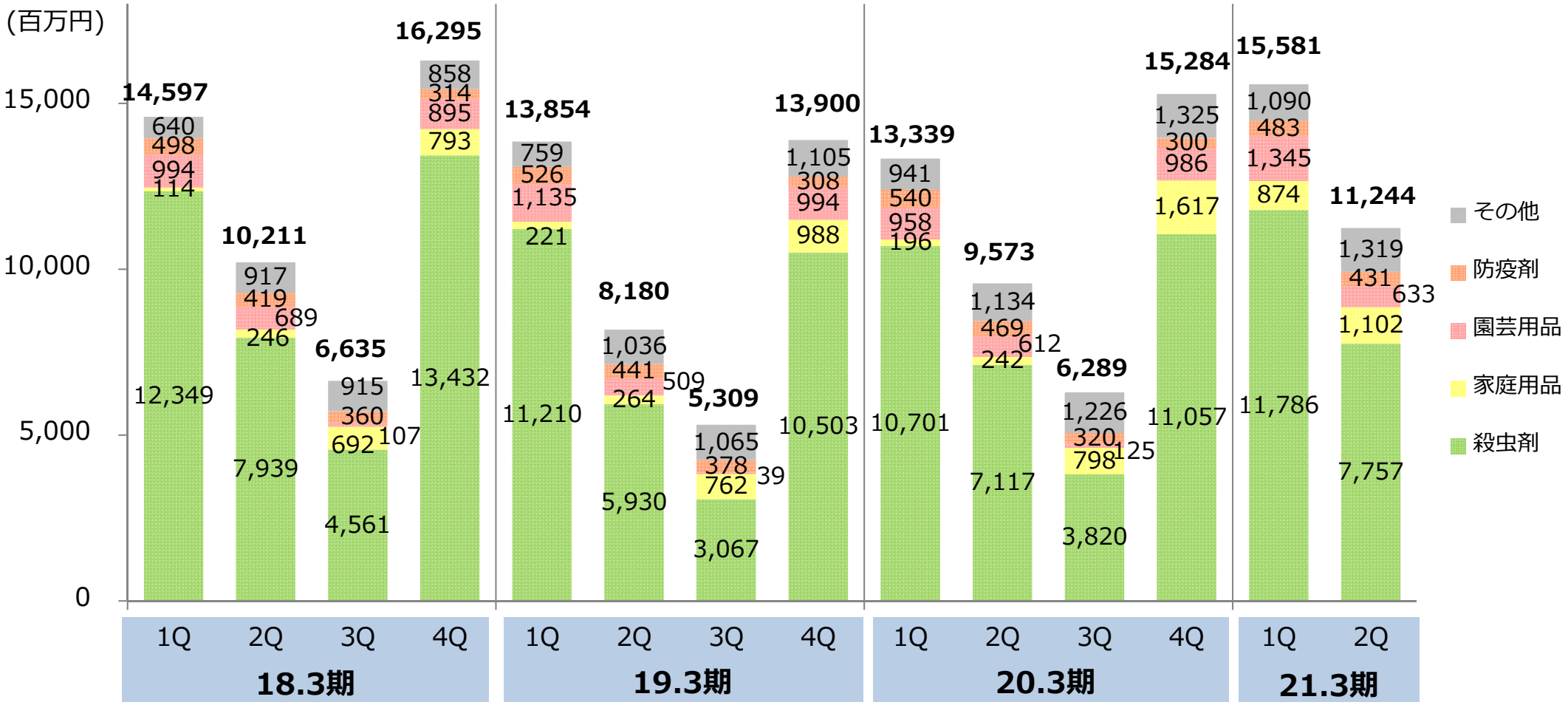




日用品質

決算概要－商品ジャンル別売上

- 家庭用品は、新型コロナウイルス感染症の対策商品として、アルコール除菌関連商品が前期4Q以降急増。
- 在宅時間が長くなったことも要因となり、殺虫剤や園芸用品の2Q売上も増収継続
- その他のジャンルでは、シロアリ施工工事が増加



日用品質
フマキラー®

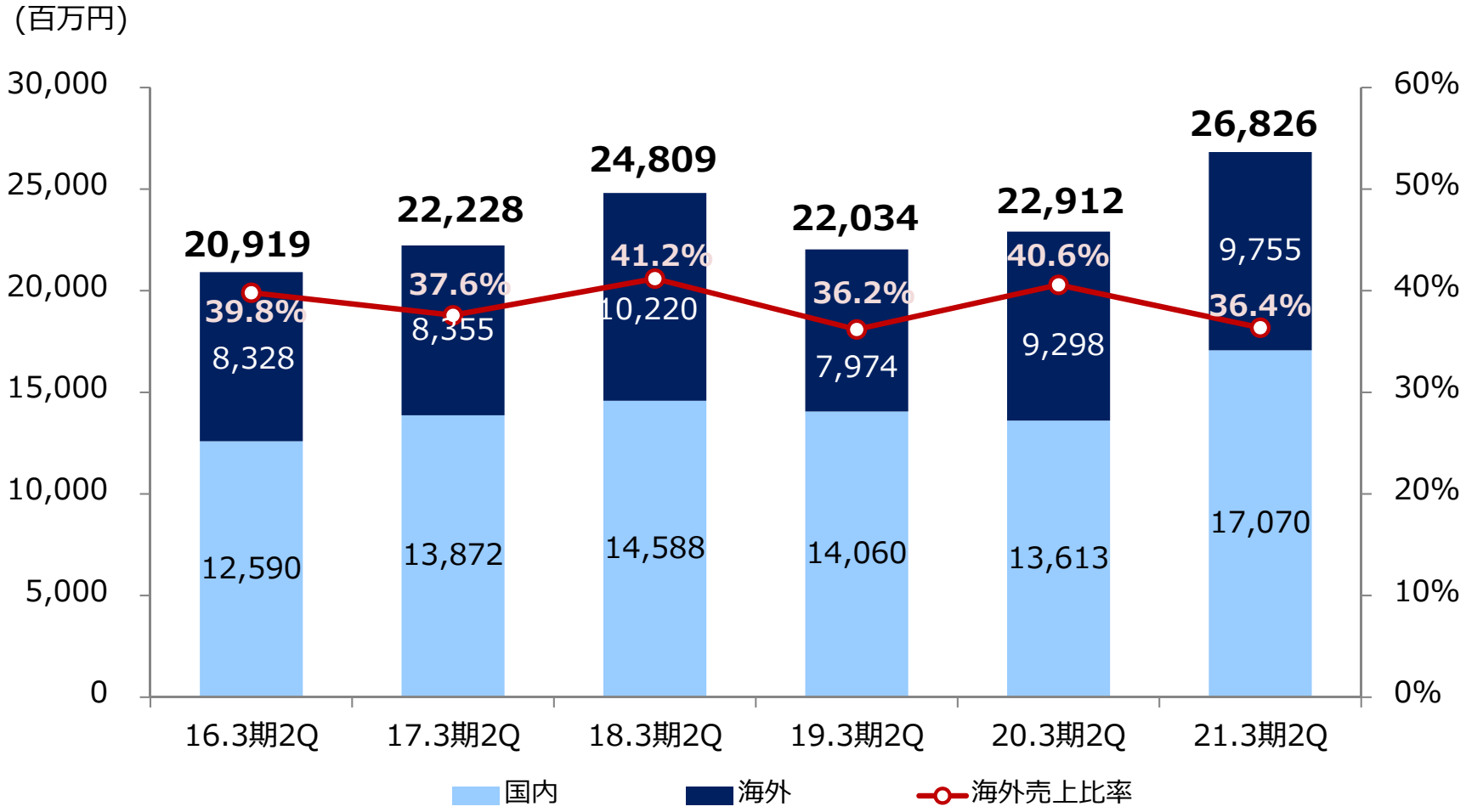
決算概要－売上高の増減要因

ジャンル		前期比	要因
殺虫剤	国内	114.7%	➔ コロナ禍による在宅勤務や外出自粛要請による巣ごもりによる需要の増加 ➔ 前年は天候不順により４～６月の売上が減少し、その反動による前年対比での大幅売上増
	海外	105.1%	➔ 展開している東南アジア各国でコロナウイルスによる影響が最小限だったこともあり、現地通貨ベース、円貨ともに堅調に推移
家庭用品		451.5%	➔ 新型コロナウイルス感染症の影響によりアルコール除菌関連商品の需要が高まり大幅な増収 ➔ アレルシャット関連商品の返品が減少し、増収に貢献
園芸用品		126.0%	➔ 殺虫剤と同様に巣ごもりにより家庭菜園を楽しむ方が増加し、主力の殺虫殺菌剤、不快害虫用殺虫剤等の需要が増加し売上増
防疫剤 その他		107.8%	➔ フマキラー・トータルシステム㈱のシロアリ施工工事が好調
合計		117.1%	

日用品質 フマキラー

決算概要－国内/海外売上高

- 国内は家庭用品の伸びにより前年同期実績を上回る
- 海外も順調に推移したが、国内売上の大幅増加により、海外売上比率は4.2ポイント低下



日用品質 フマキラー

決算概要－為替の影響

- 為替による業績の影響額は、売上▲228百万円、営業利益+18百万円

為替変動による売上・利益増減額

(百万円)

	売上高	営業利益	備考（営業利益）
フマキラー	▲20	+29	海外売上▲2、海外仕入+31
海外子会社	▲207	▲12	インドネシア（2社）+0、メキシコ▲3、アジア▲8他
合計	▲228	+18	

期末レート・期中平均レート

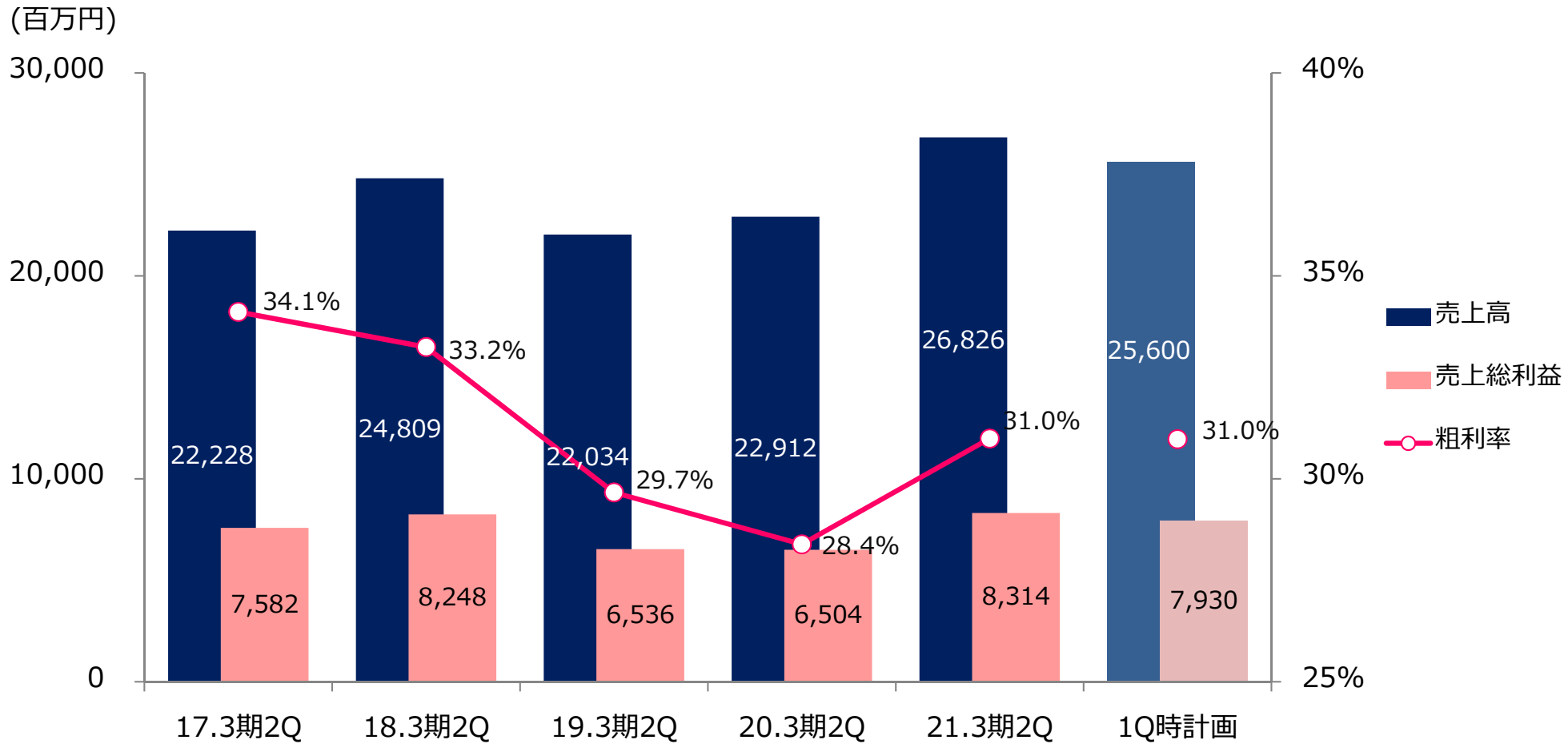
期末	19年6月	20年6月	20年12月計画
円/100ルピア	0.76	0.76	0.67
円/リンギット	26.03	25.16	25.22
円/ルピー	1.56	1.43	1.45
円/ペソ	5.62	4.66	4.57

期中平均	19年4-9月	20年4-9月	20年4月-21年3月　計画
円/ドル	109.0	106.9	105.0
円/ユーロ	122.9	119.9	115.0

日用品質 フマキラー

決算概要－売上総利益（粗利率）

- 売上総利益率は前年同期比2.6pt改善
- 競争環境が引き続き厳しい中で、アルコール除菌関連商材の急拡大により利益が18年3月期２Qレベルに回復

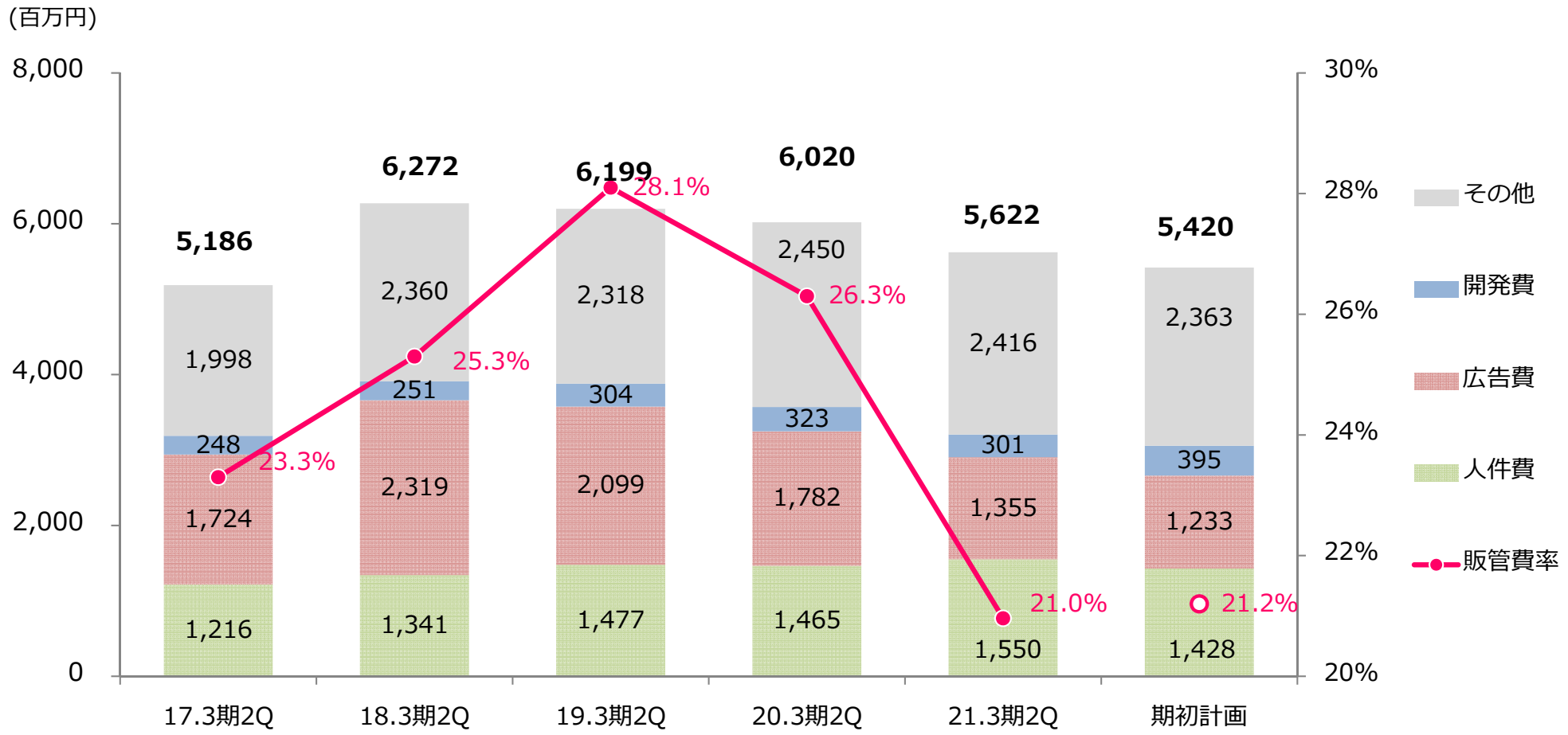


※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質 フマキラー

決算概要―販管費

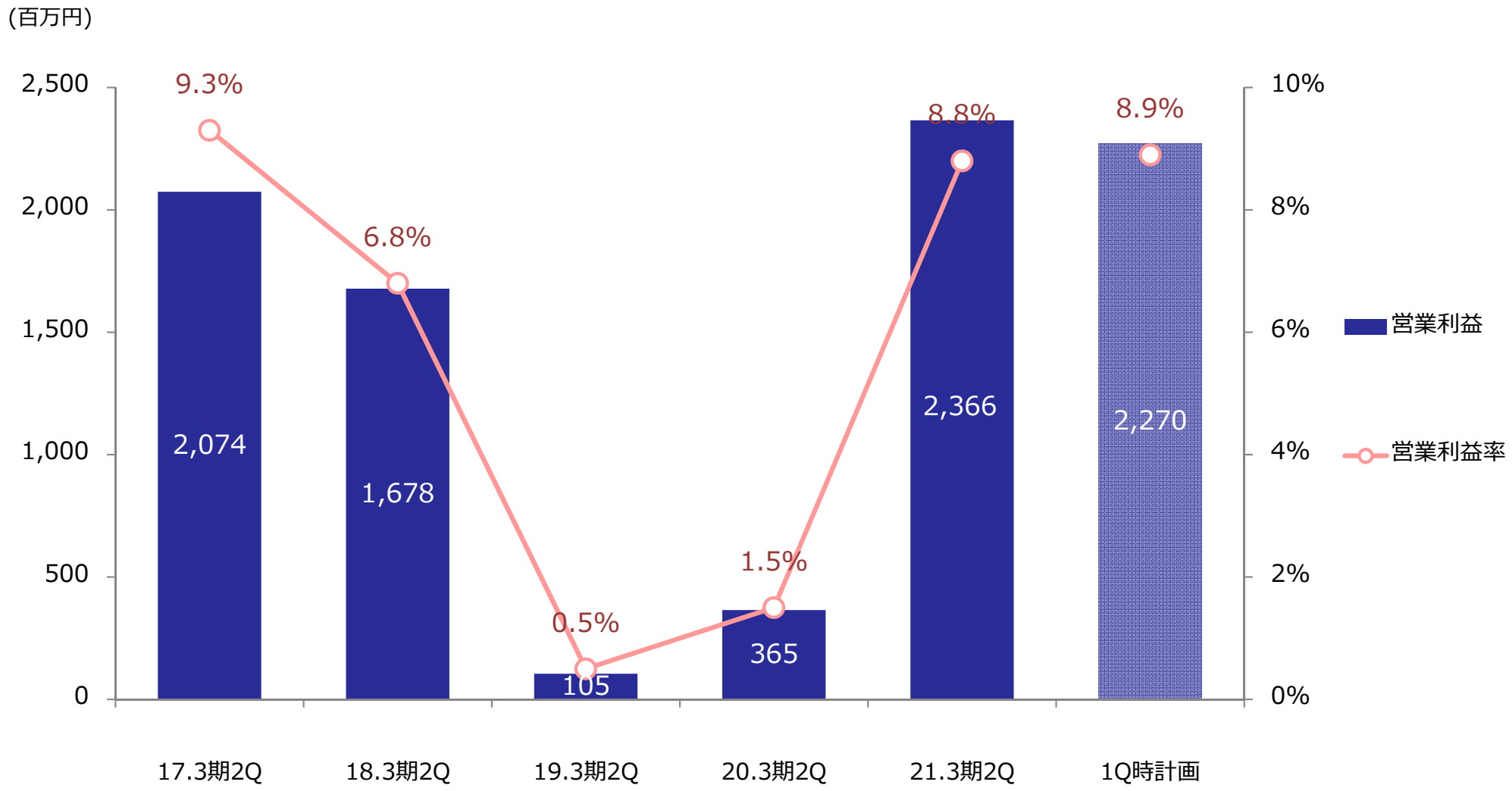
- コロナ禍で営業活動が制限されたこともあり、広告費・マーケティング費用が減少
- 販管費率は、売上の増加と販管費の減少により大きく減少



日用品質 フマキラー

決算概要―営業利益

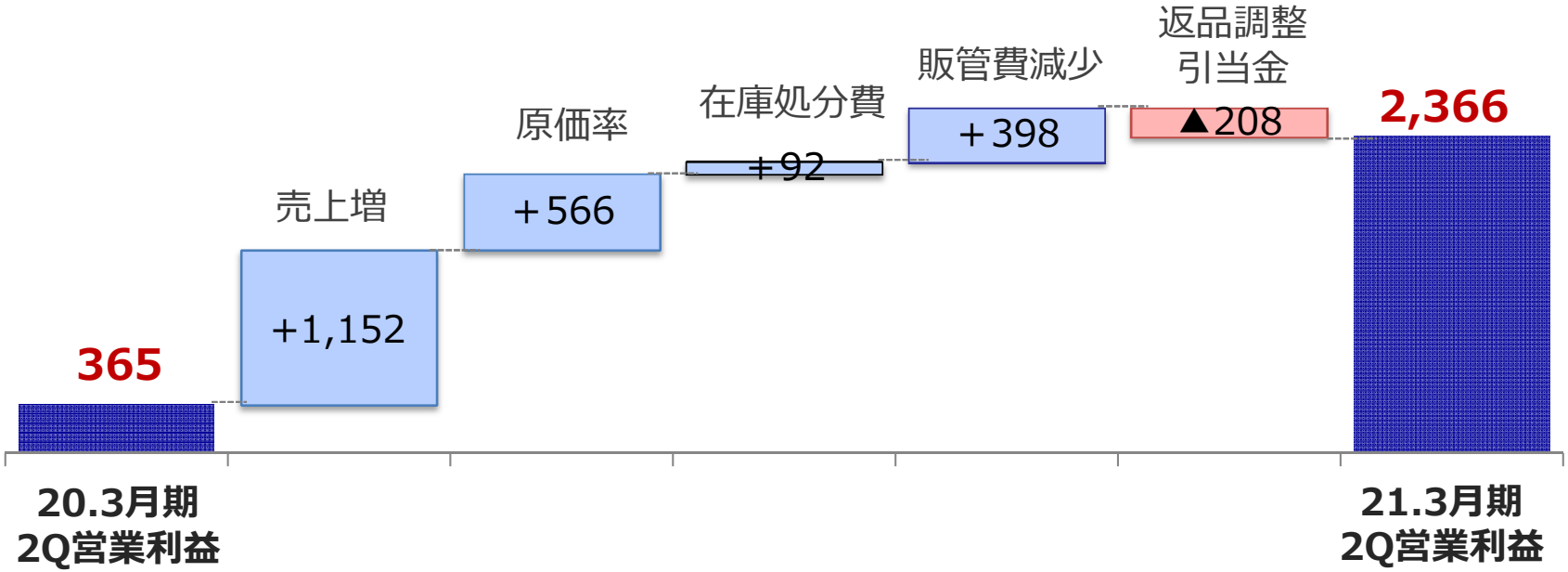
売上総利益が増加した一方で、販管費が減少したため、営業利益は過去最高



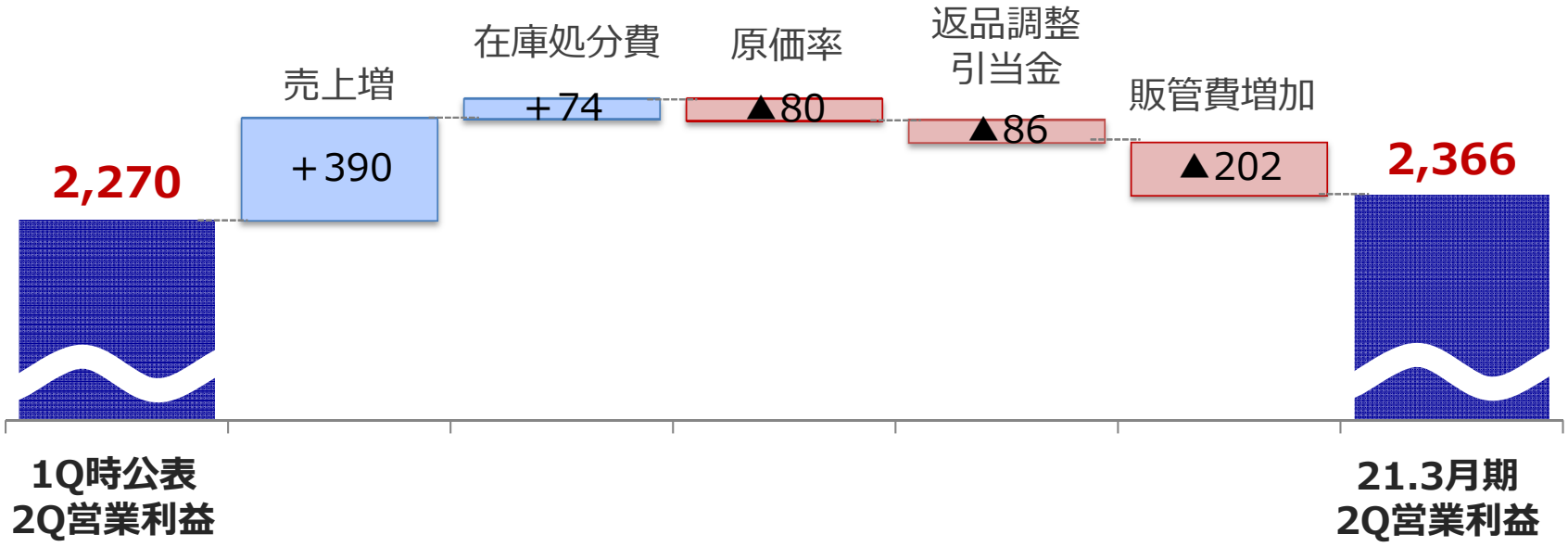
日用品質 フマキラー

決算概要―営業利益増減要因

前年同期比
+2,001百万円



1Q時計画比
+96百万円



日用品質 フマキラー

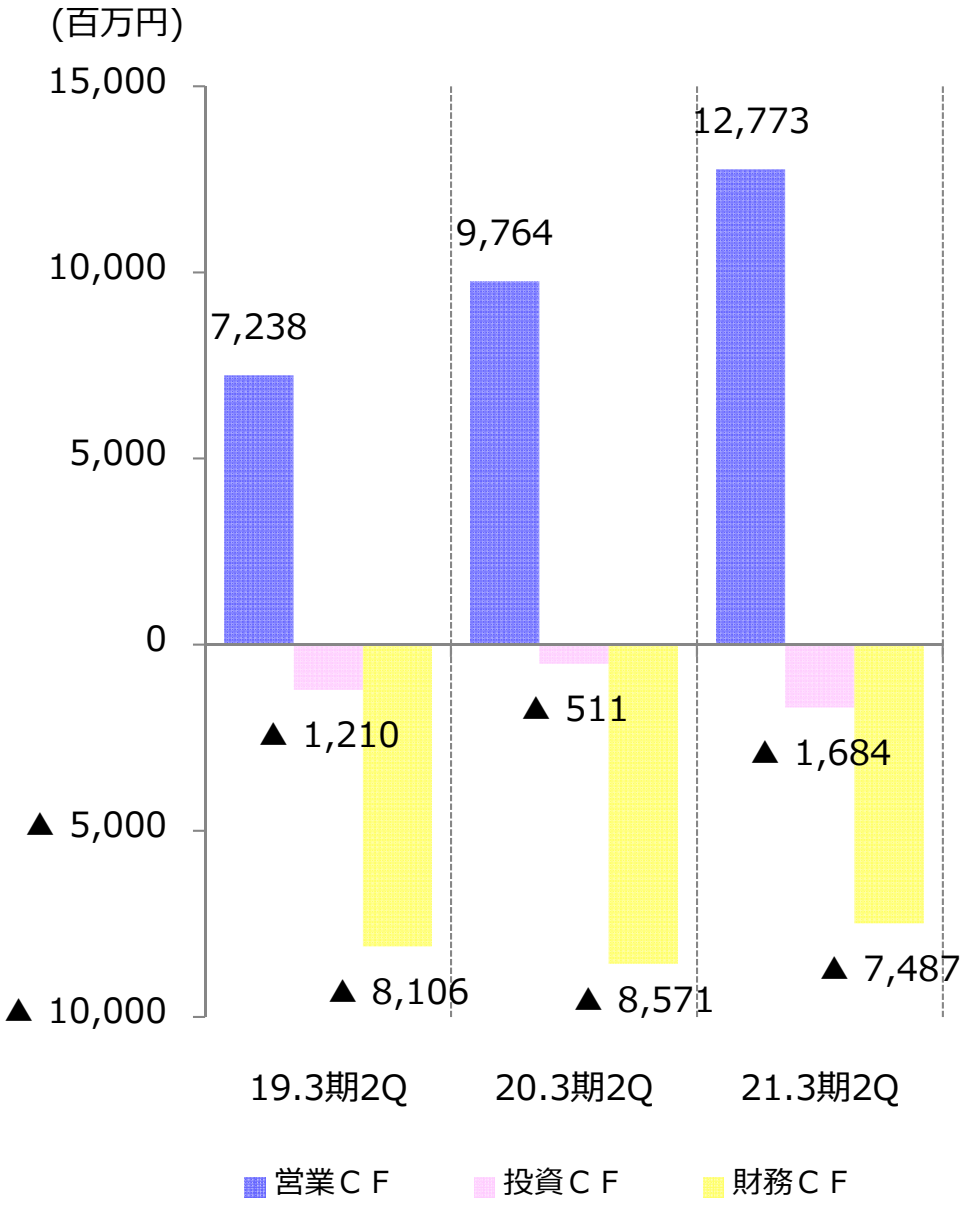
決算概要 – 貸借対照表

(単位：百万円)

	20.3期 2Q末	21.3期 2Q末	対20.3期2Q末増減	
流動資産	18,854	22,577	3,723	
現金及び預金	5,823	9,930	4,107	在庫削減や有利子負債の減少からキャッシュフローが改善し増加
売上債権	5,008	6,790	1,782	
たな卸資産	7,052	4,818	▲2,234	
固定資産	12,859	14,810	1,950	
有形固定資産	5,026	7,152	2,126	ブレーンズ・パーク建設（21年3月完成予定）
無形固定資産	1,772	1,592	▲179	
投資有価証券	5,543	5,506	▲37	
資産合計	31,714	37,388	5,674	
流動負債	13,855	16,866	3,011	
買入債務	4,463	6,446	1,983	
固定負債	1,844	1,694	▲149	
有利子負債	5,073	2,837	▲2,236	短期借入金の返済
負債合計	15,699	18,561	2,861	
純資産	16,014	18,826	2,812	
資本金	3,698	3,698	0	
負債純資産合計	31,714	37,388	5,674	

日用品質 フマキラー

決算概要－キャッシュ・フロー



（単位：百万円）

	20.3期 2Q		21.3期 2Q
営業キャッシュフロー	**9,764**	→	**12,773**
税金等調整前四半期純利益	396	→	2,479
売上債権減少額	7,564	→	5,298
棚卸資産減少額	2,888	→	2,611
仕入債務増減額（▲は減少）	▲1,692	→	761
投資キャッシュフロー	**▲511**	→	**▲1,684**
有形固定資産の取得	▲327	→	▲1,678
財務キャッシュフロー	**▲8,571**	→	**▲7,487**
短期借入金の純増減額	▲8,052	→	▲7,062

Ⅱ．通期予想と今後の展開（2021年3月期）

日用品質
フマキラー

21.3期上期をふり返って

21.3期第2四半期業績総括

①概ね1Q決算時に発表した予想に沿った着地

②新型コロナウイルスの影響による生活様式の変化で需要拡大

- アルコール除菌関連商品の需要拡大
- 巣ごもり消費として、殺虫剤・園芸用品も増収

③海外は為替の影響を吸収し増収増益を確保

- 新型コロナウイルスに関しては、東南アジア各国で影響は最小限
- 各国とも現地通貨ベースで前期を上回り増収

今後の課題

①アフターコロナへ向け、新たな生活様式を定番へ

②従来からの成長戦略の継続とブラッシュアップ

日用品質
フマキラー

通期予想

- 利益ベースで1Q公表時の計画に沿って推移していること、国内外における需要動向等を勘案し、計画は据え置く

	20.3期実績 (百万円)	21.3期計画 (百万円)	対前期増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	44,486	44,500	14	100.0
売上総利益 (粗利率)	13,094 (29.4%)	13,600 (30.6%)	506 (+1.1pt)	103.9
販管費	11,303	11,400	97	100.9
営業利益	1,786	2,200	414	123.2
経常利益	2,022	2,500	478	123.7
親会社株主に帰属する当期純利益	770	1,300	530	168.8

※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質
フマキラー®

通期予想前提と現時点の見通し

1Q時点で想定したシナリオ

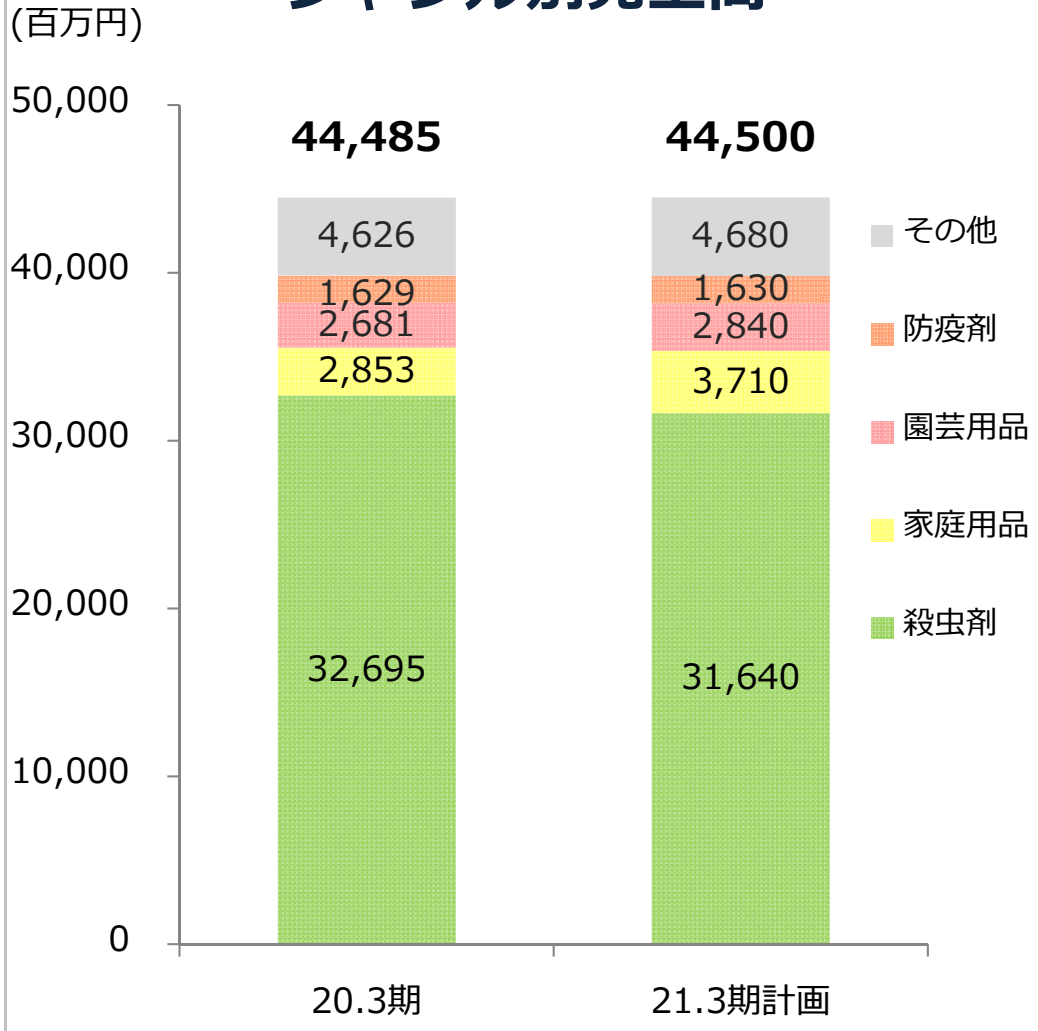
- **新型コロナウイルス対策として、前期4Qから今期1Qにかけて需要が拡大したアルコール除菌剤や園芸用品の売上は、2Q以降は例年並みに収まる見込み**
- **海外は、為替レートを保守的に前提**
  - ・インドネシア・マレーシア等主力市場において、現地通貨ベースでは5-6%の増収を見込むものの、円換算で前期売上を下回る
  - ・日本からの輸出売上高も大幅減収の見込み
- **上期の殺虫剤売上が大幅増の影響から、下期は返品が増加すると想定**

2Q時点では、計画を上回っているものの、上記シナリオと大きなギャップはなく、計画数値の変更は行わず

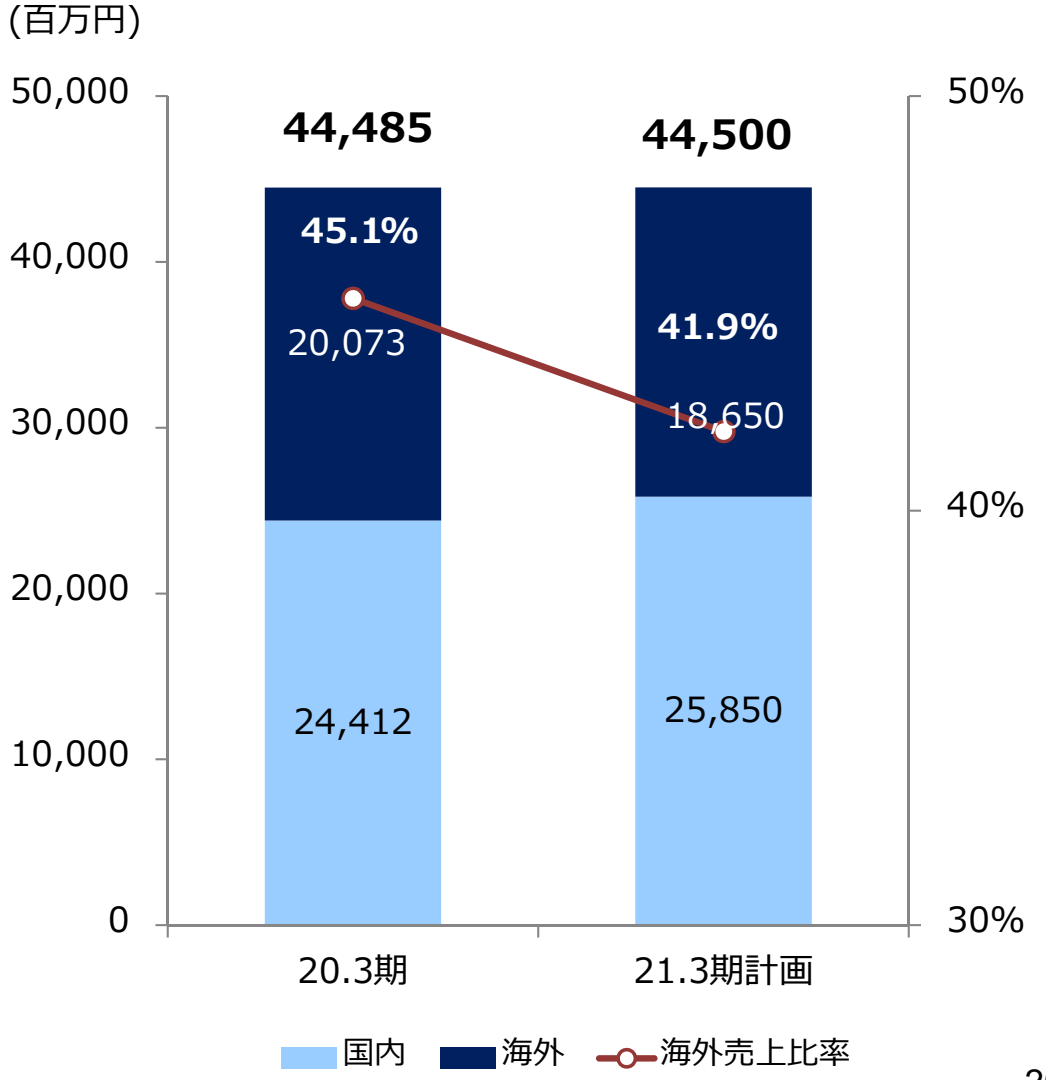
日用品質 フマキラー

今期予想－ジャンル別売上

ジャンル別売上高



国内/海外売上高



日用品質 フマキラー®

下期の取り組み

項目	取り組み課題
日本のフマキラーグループの課題	➢ 画期的で魅力的な新商品の開発 ➢ 高品質で効率的な生産 ➢ 研究開発体制及び生産体制の強化⇒ブレーンズ・パーク建設中 ➢ 販売力の強化と流通チャネルの拡大 ➢ ウイルス・細菌・アレルゲンなどのリスクへの対策商品の提案強化
海外のフマキラーグループの課題	➢ 国内と海外子会社間の連携強化とグループシナジー効果の向上 ➢ インドネシアの研究開発体制の強化⇒新研究開発棟建設中 ➢ 海外事業の拡大と収益力の強化
収益力と財務状況の改善	➢ 国内外での商品アイテムの見直し ➢ 製品原価の低減 ➢ 在庫の適正化 ➢ 製品価値に基づいた適正価格での販売 ➢ 販管費の効率的運用(マーケティング費用含む)

日用品質

フマキラー

下期の取り組み－国内

- ■ 人々の命・暮らし・環境を守る商品の提供
- ■ ウイルス・細菌・アレルゲンなどのリスクへの対策商品

これまでに培ってきたノウハウを結集した画期的で魅力的な新商品の開発

殺虫剤・・・

来シーズンに向けて
新製品準備中　（１月発表予定）

家庭用品・・・春秋発表9SKU+新製品準備中

園芸用品・・・秋発表　6SKU

日用品質
フマキラー

地域別経営課題－インドネシア

国、会社	取り組み課題
フマキラー インドネシア	➢ 線香No.1シェアの堅持と線香市場の変革 ➢ エアゾールの強化とOPV市場の活性化 ※OPV（ワンプッシュベープ）
フマキラー ノモス	➢ 線香No.2シェアの堅持、更なる売上拡大に注力 ➢ エアゾールの売上増とシェアの拡大 ➢ 線香の生産性向上とコストダウン推進

日用品質
フマキラー®

地域別経営課題 – FAG

国	取り組み課題
マレーシア	➢ 線香の販路拡大 ➢ 線香とエアゾール強化と販路の拡大 ➢ 店頭販促を強化しワンプッシュ、ベイト剤、忌避剤の育成
ベトナム	➢ 殺虫剤シェアNo.1の維持、更なるシェアアップ ➢ 殺虫エアゾールのラインナップ強化 ➢ 生産効率改善とコストダウン
タイ	➢ 重点商品の販売強化 ➢ 国内販売網の更なる強化 ➢ 生産性の改善
ミャンマー	➢ エアゾールの販売強化とリキッドの普及活動の継続 ➢ エアゾール新工場の稼働開始による安定供給体制の確立

日用品質
フマキラー

海外国別業績

現地通貨ベース

前期比(%)

展開国	売上高	
	2019年 実績	2020年 計画
インドネシア（2社）	114	105
マレーシア	109	106
タイ	117	129
ベトナム	106	126
インド	92	95
メキシコ	111	129

円換算

前期比(%)

展開国	売上高	
	2019年 実績	2020年 計画
インドネシア（2社）	118	91
マレーシア	109	94
タイ	125	112
ベトナム	105	115
インド	90	82
メキシコ	114	100
海外合計(単純合算)	115	95

日用品質
フマキラー®

ブレーンズ・パーク計画

第Ⅰ期工事（2012年3月完成）

【エアゾール工場】
環境に配慮した工場で、より高品質、高効率の生産体制

ブレーンズ・パーク（全体イメージ図）

- 建設場所；当社広島工場（広島県廿日市市梅原）敷地内
- 建築面積；約5,335㎡
- 延床面積；約8,175㎡
- 内容；研究開発及び生産に関する施設等
- 投資金額；約19億円（概算）
- 資金計画；自己株式の処分資金並びに自己資金又は借入金により調達予定
- 完成時期；2021年3月（予定）

日用品質
フマキラー®

ミャンマー工場計画

ミャンマー工場建設

エアゾール工場

事務所棟

- 内容；エアゾール工場・事務所棟
- 稼働時期；コロナの影響等により稼働開始を延期

日用品質

フマキラー®

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

≪本資料に関するご照会先≫

フマキラー株式会社

取締役　管理本部長　　郷原　和哉

TEL　　：0829-55-2111

FAX　　：0829-55-0712

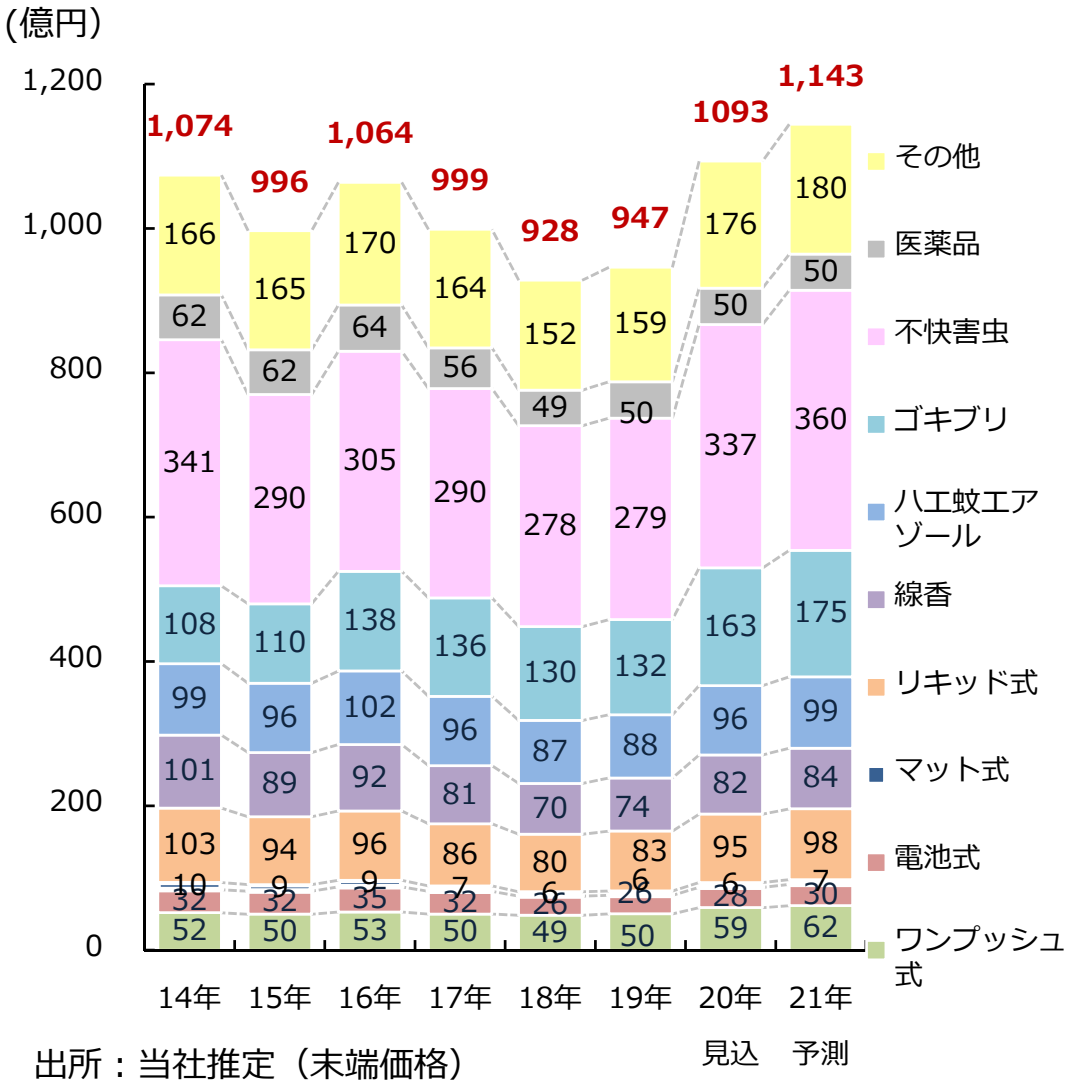
E-mail：Kazuya-gobara@fumakilla.co.jp

Ⅲ． 補足資料

日用品質 フマキラー

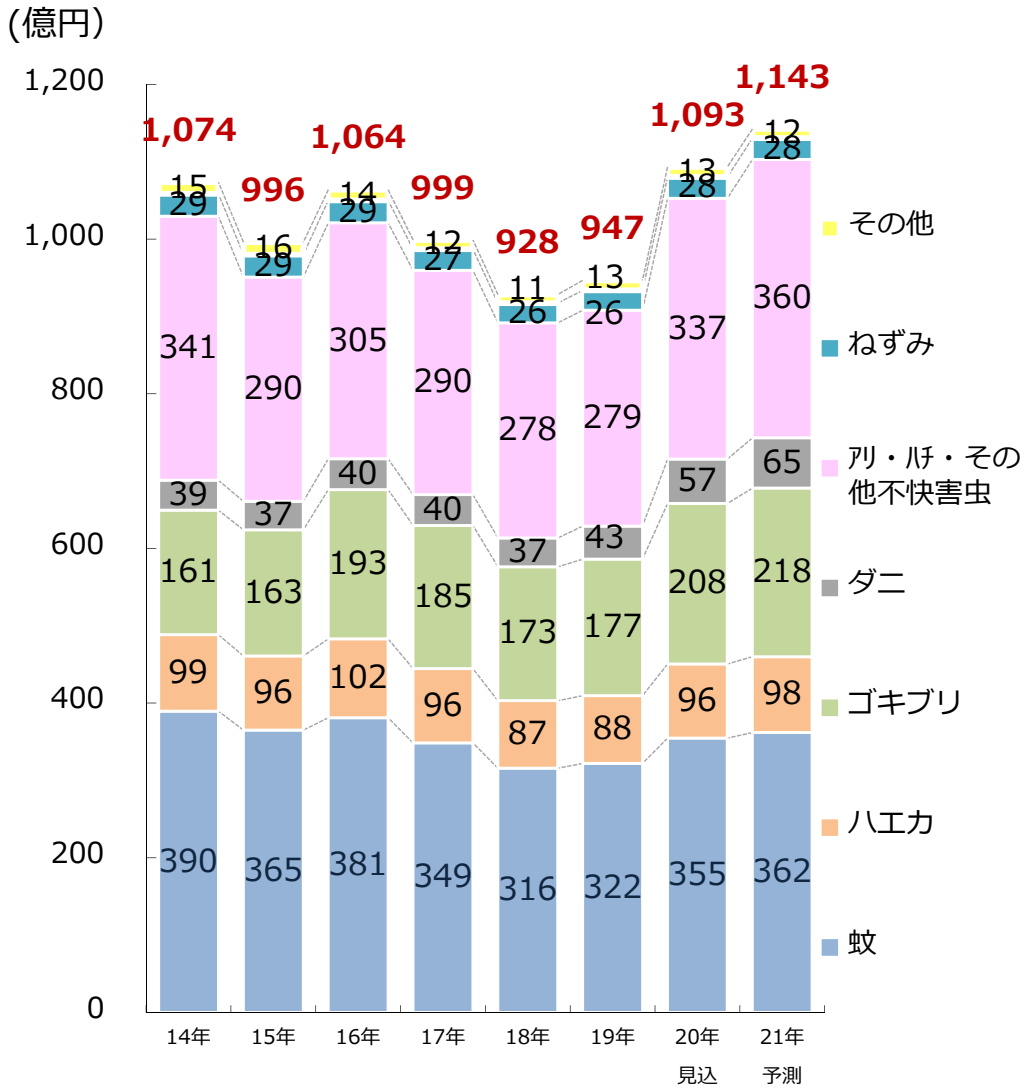
家庭用殺虫剤市場規模－国内市場

国内・家庭用殺虫剤市場規模
年間約1,000億円（小売ベース）



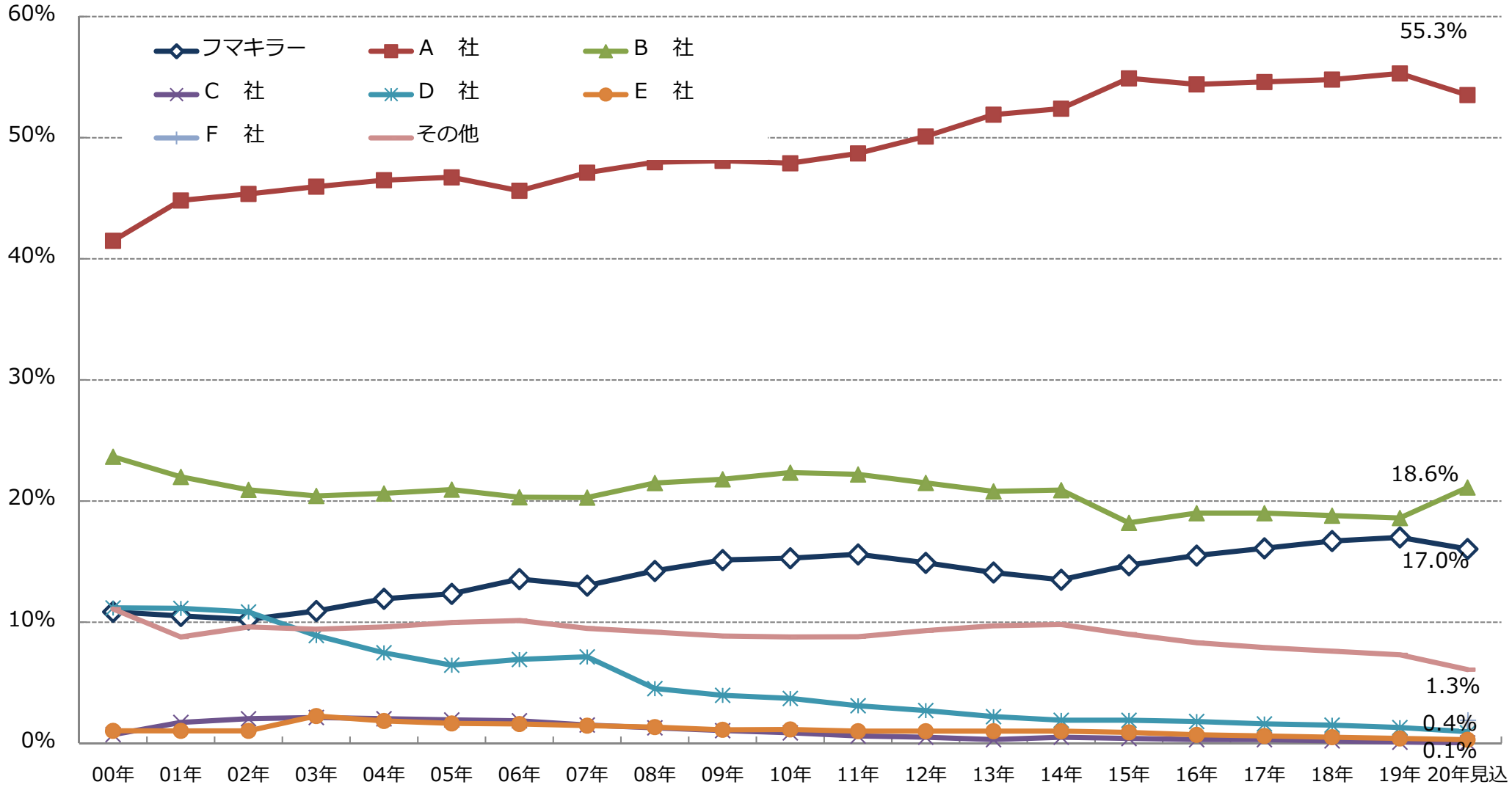
出所：当社推定（末端価格）

害虫別殺虫剤市場規模



日用品質 フマキラー

家庭用殺虫剤シェア推移



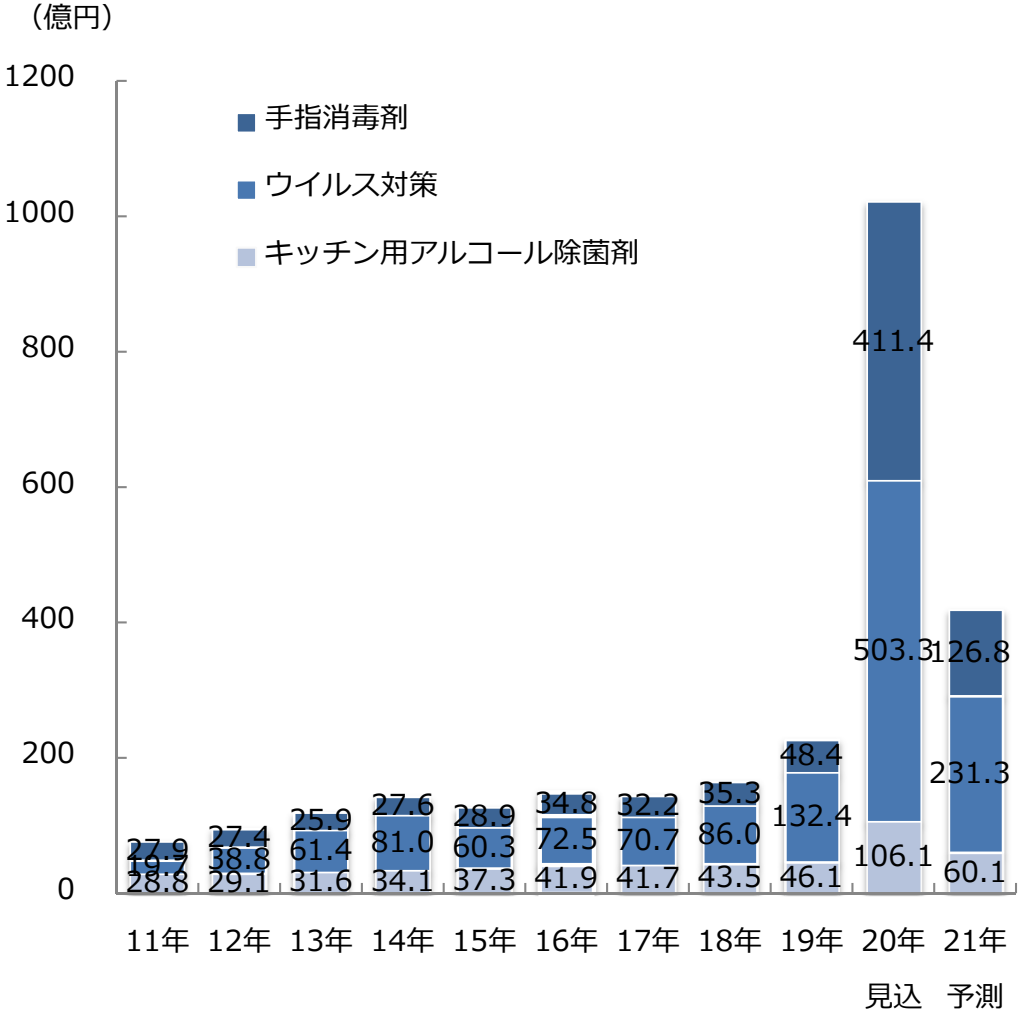
出所：当社推定

日用品質 フマキラー

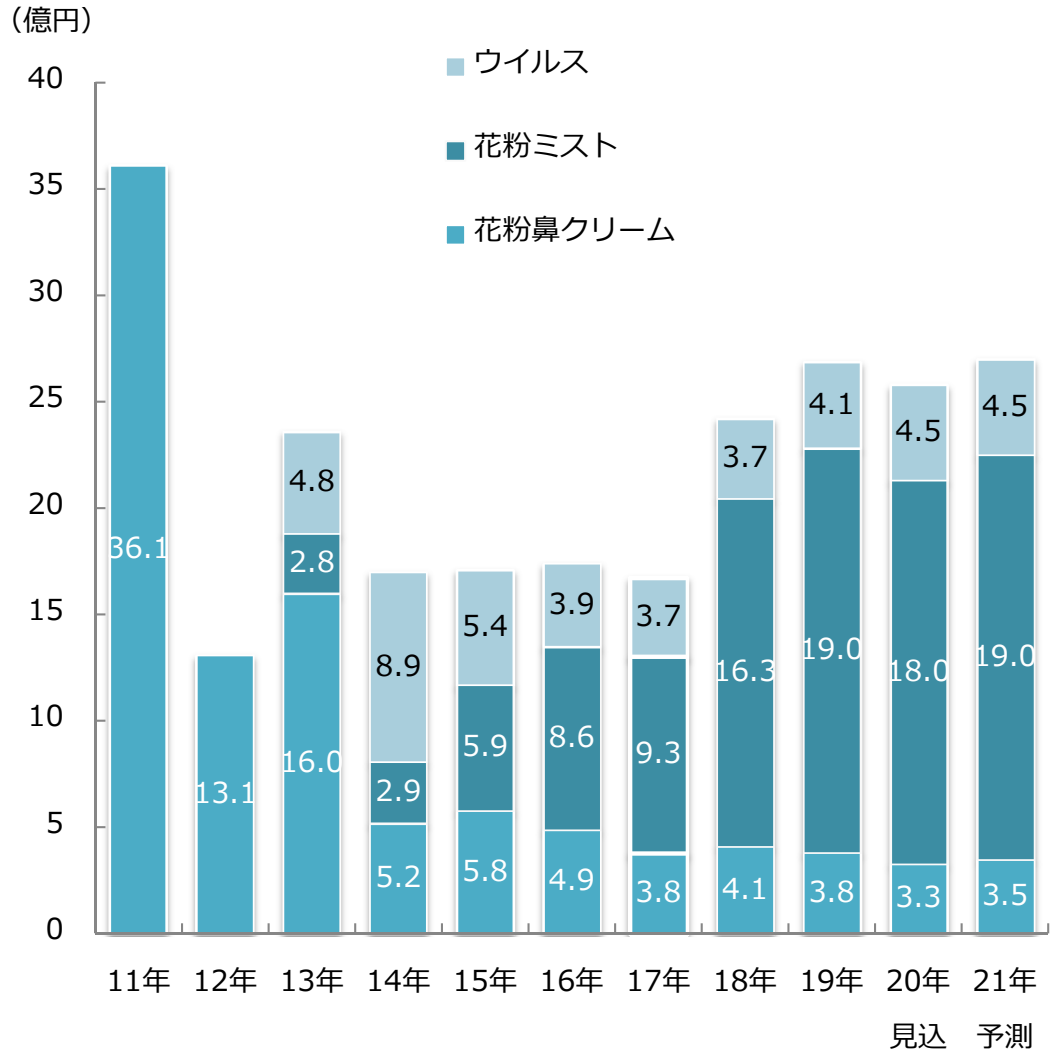
家庭用品市場規模―除菌剤・花粉

除菌剤市場

（当社関連商品）



アレルシャット関連市場

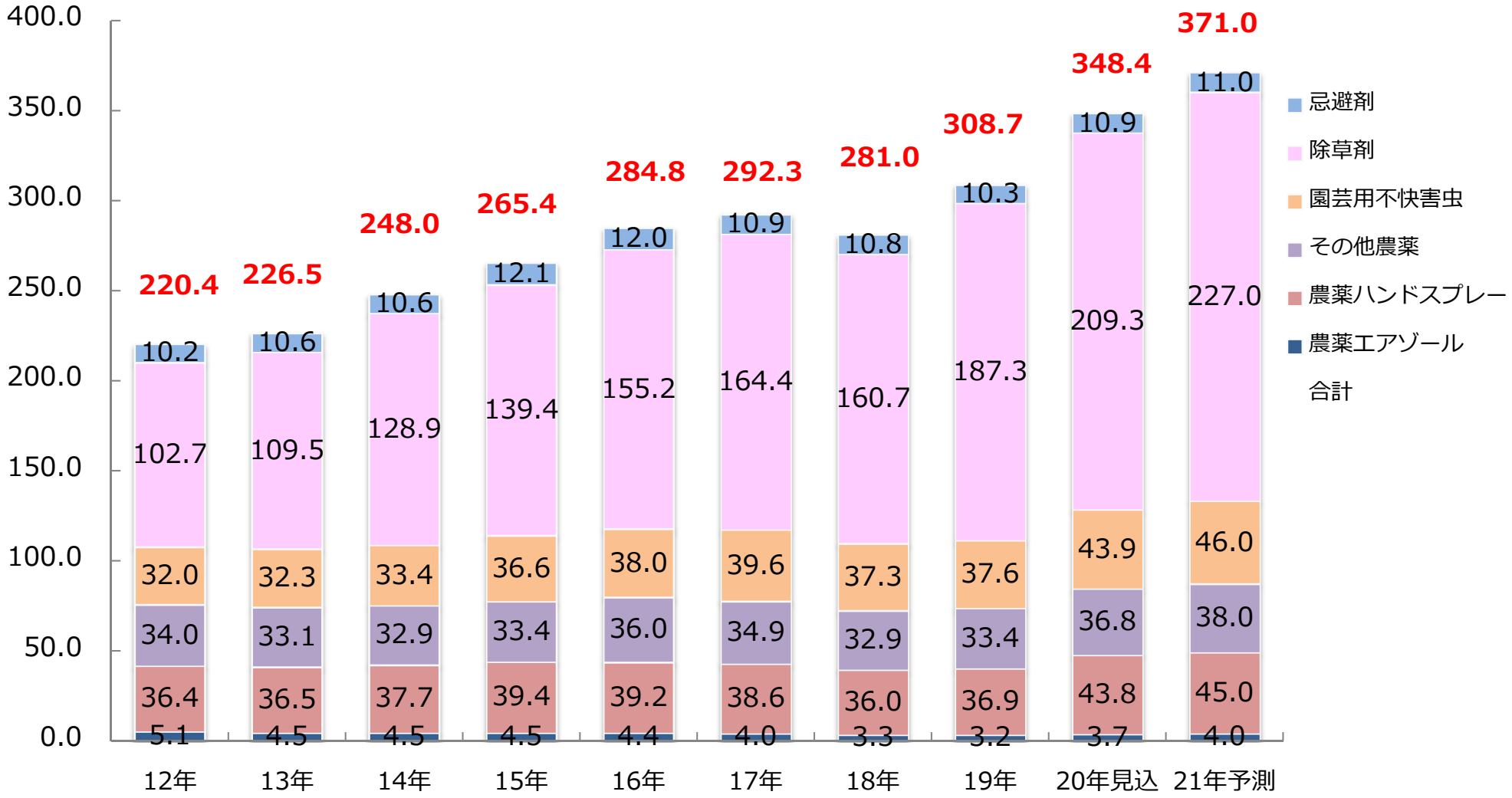


出所：当社推定（末端価格）

日用品質 フマキラー

園芸用品市場規模

園芸用品市場



出所：当社推定（末端価格）※13年より項目追加

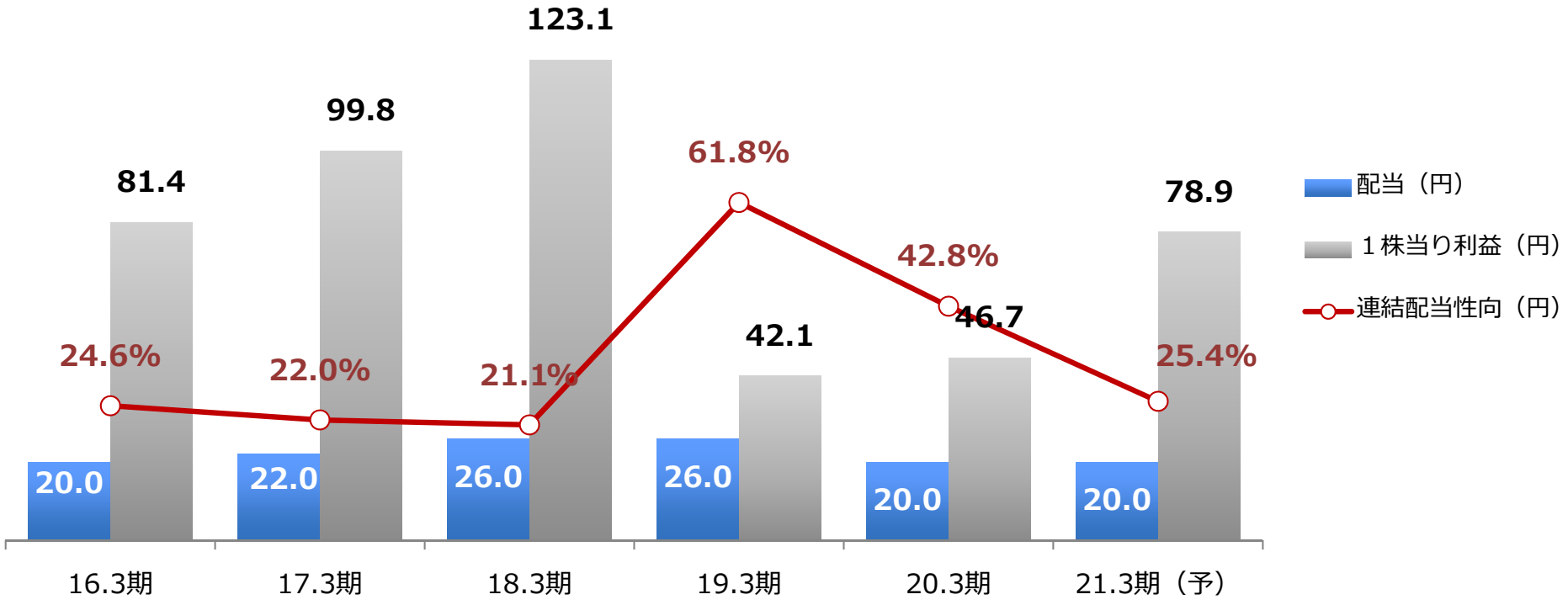
日用品質 フマキラー

配当について

配当に関する基本方針

株主様に対する利益還元として、業績・将来の事業展開や内部留保などを　総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを経営の重要課題として位置づけています

配当及び連結配当性向の推移



※17.3期以前の1株当り利益および配当は2017年10月1日に実施した株式併合を考慮して遡及修正